

50%を約束されているのは、このモデル世帯だけ。

しかも、このモデル世帯でも50%の維持というのは、
65歳で年金を受け始める時点での現役世代の賃金に対する比率です。

受け始めて以降の比率は下ります。
受給開始時、50%を維持できた、モデル世帯でも、85歳到達時には、
43%まで落ち込むと試算されていますが、
子育てもすんだ、家のローンも完済、高齢になれば、そう遊びまわることも
無いから、消費生活水準がおのずと下る、
だから
生活には大きな影響はないし、このような方法をとらなければ、
現役世代の保険料負担の上昇を招くとの考え方。

年金は長期間にわたる制度ですから、一つの目安の数字をあげて、
随時比較しなければならないのは理解出来ても、
公約を維持するために現実とかけ離れたモデルケースをあげて
毎回維持出来ると説明されても、
モデルケースに該当しない私は？？？と思います。

●西尾はこう思います。
戸籍上もご夫婦でも、互いの職業を尊重し、財布は別で、
場合に応じて助け合うという方々もおいでです。
また、戸籍にはとられずパートナーとして生活を共にしているという方々、
単身者、単身で子育てをしている世帯、さまざまなライフスタイルがあります。
そのすべてのケースに当てはまるモデル世帯を想定するのは難しく、
個々の受給者単位で考えるべきでは？
いっそのこと、世帯合算で試算するのは辞めて、
個人単位で給付水準を考えてもいいのではないかと思った次第です。

★トピックス～ 所得代替率 ～

所得代替率とは、
そのご夫婦、単身者の、若い頃と同じような働き方をしている
現役世代の手取り賃金と比較して、年金が何%に当たるかを示す率です。

モデルケースの代替率が高くても、
共稼ぎのご夫婦のほうが、実際に受け取る年金額は多いです。

2050年でも50%が維持できているという試算をされても、
40年の間に、社会情勢がどのように変わるか、
年金試算のもとになる数字も変わるでしょうし、
私達にはピンとこないのが実感です。

あくまで試みの案ですから、そろそろ代替率50%の公約のしほりから
解放されたほうが良いのではと思います。

~~~~~編集後記~~~~~

6月に入り、ビアガーデンが大好きな私は、  
諸々のビアガーデンのチラシが大変気になっております。

今のところ、昨年より値段をアップしている  
ビアガーデンはないようです。

そろそろ、旧友の皆様に  
御誘いの電話やメールをと  
スケジュール調整(?)  
にかかっております。

皆様はいかがですか？

~~~~~

年金についてのご相談なら

西尾雅枝社会保険労務士事務所
社会保険労務士 & 年金コンサルタント
西尾雅枝

〒604-8155

京都市中京区錦小路通室町東入ル

占出山町308 ヤマチュービル2F N10

電話&FAX(075)241-4586

メールinfo@nishio-sr.com

WEBサイト<http://www.nishio-sr.com>

* このメールマガジンの無断転載・転用は固くお断りいたします。 *

働くあなたの公的年金 & 保険知っ得情報

発行システム:『まぐまぐ!』<http://www.mag2.com>

配信中止はこちら』<http://www.mag2.com/m/0000180112.html>
